未来共創科

現代社会は人口減少が深刻化するとともに、グローバル化とデジタル化が急激に進み、人々の生活が大きく変化してきています。こうした時代の変化に対応し、「未来共創科」では、地域や企業の方の協力を得ながら新しい普通科としての先進的な学びを提供し、持続可能な未来を共に創る人材を育成します。

未来共創科

この学科のある学校 津和野高等学校…P80

カリキュラムの特色は？

＜カリキュラムの４つの柱＞

教科学習	探究学習	情報活用	特別活動等
対話やICT活用を重視します	「やってみたい」を「やってみる」	教科、探究の学びを深めます	協働性や社会性を育成します

これまでの普通科の学びを保障しながら、教科学習・探究学習・情報活用・特別活動等をバランスよく実施し、未来社会を切り拓くために必要な資質・能力の育成を目指します。３つのコース（総合、探究、自然科学）は継続し、それぞれのコースに新時代に対応した以下の新しい科目を設置します。

総合

【情報活用】〈2 年次、3 単位〉
　色々なデータ（インターネット上にあるものや自分たちで収集したもの）を分析し、地域の課題を発見し発表する演習を行います。また、企業での実習も予定しています。
【プログラミング応用】〈3 年次、3 単位、コース内選択科目〉
　プログラミング言語を用いて、スマートフォンなどの身近な端末で使え、収益を上げられるようなアプリ開発の実践演習を行います。

探究

【データサイエンス実践】〈2年次、1単位／3年次、1単位〉
　津和野町の産業についてのデータや RESAS（地域経済分析システム）などを活用し、地域課題についての共有と提案の実践を行います。

自然科学

【データサイエンス実践】〈2年次、1単位／3年次、1単位〉
　探究コースと同じ内容です。
【プログラミング発展】〈3年次、1 単位〉
　プログラミングによる機械学習演習を通して、問題解決能力の育成を目指します。

なぜデジタルなの？

インターネットなどのデジタル技術は現代の生活に欠かせず、私たちは膨大なデータに時と場所を選ばず触れることができます。そのため、デジタルスキルを学ぶことで、生活はより豊かなものになります。また、デジタルスキルは地理的なハンディを克服します。津和野町から最先端の学びができ、自己実現と産業振興のチャンスが広がると考えています。

進路はどうなるの？

新しい普通科に変わることで、高校卒業後の進路選択の幅が広がると考えます。これまでの教科学習と探究学習の深化に加え、デジタルスキルを身につける進化したカリキュラムを設計し、３コース制を維持しながら、進学にも就職にも対応します。